

令和8年度 江戸川区立小岩第一中学校 人権教育年間指導計画（第一学年）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育を含んだ学級目標の設定	互いを認め合う集団作り（運動会）			学級生活の向上を図るとともに、自己の良さを発揮し、個性を伸ばし、集団生活が送れるよう支援する			これまでの学校生活を振り返り、互いに感謝の気持ちを持たせる			
各教科・読書科	各教科において、人権問題を課題解決学習として取り入れ、実施する										
					感染症について正しい理解を深め、病気に対する偏見をなくす（保健体育） 「HIV感染者」						
特別の教科 道徳		「LGBTQ」⇔性の理解と尊重⇔運動会	集団生活の向上 集団との関りから「権利と義務」について考える	社会の秩序と規律 自他の権利を尊重し、義務を確実に果たす	「生命尊重」生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する				「高齢者」⇔「郷土愛」先人や高齢者に尊敬や感謝の念を持つ		社会の秩序と規律 自他の権利を尊重し、義務を確実に果たす
総合的な学習の時間					「子供」「高齢者」「障害者」⇔フィールドワークに取り組み、人間の尊厳についての理解を深める						
特別活動	「インターネットによる人権被害」スマートフォンやSNSを使用する際の注意事項		男女協力し、互いに尊重しあう集団作り（運動会）		校外学習をふまえ、男女個々の生徒間で協力する心を育てる		進路学習を通じ、互いを尊重する精神を養う。 また、自己実現に向けて考える機会とする。		生徒会活動の一環として、ユニセフ・サヘルの会参加を通じて、ボランティア精神と人権意識を培う。		「災害に伴う人権問題」⇔震災と人権
その他	感染症患者（通年）										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔=関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和8年度 江戸川区立小岩第一中学校 人権教育年間指導計画（第二学年）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育を含んだ学級目標の設定	互いを認め合う集団作り（運動会）			学級生活の向上を図るとともに、自己の良さを発揮し、個性を伸ばし、集団生活が送れるよう支援する				これまでの学校生活を振り返り、互いに感謝の気持ちを持たせる		
各教科・読書科	各教科において、人権問題を課題解決学習として取り入れ、実施する										
					感染症について正しい理解を深め、病気に対する偏見をなくす（保健体育） 「HIV感染者」						
		近代歴史的な差別問題に取り組む（歴史） 「同和問題」「アイヌの人々」									
特別の教科 道徳		「LGBTQ」⇔性の理解と尊重⇔運動会	集団生活の向上 集団との関りから「権利と義務」について考える	社会の秩序と規律 自他の権利を尊重し、義務を確実に果たす	「生命尊重」生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する				「高齢者」⇔「郷土愛」先人や高齢者に尊敬や感謝の念を持つ		社会の秩序と規律 自他の権利を尊重し、義務を確実に果たす
総合的な学習の時間			「子供」「高齢者」⇔宿泊行事に伴い、茨城県について調査し、人間の尊厳について考え、理解を深める					「子供」「高齢者」「外国人」⇔校外学習に伴い、鎌倉について調査し、人間の尊厳について考え、理解を深める			
特別活動	「インターネットによる人権被害」スマートフォンやSNSを使用する際の注意事項		男女協力し、互いに尊重しあう集団作り（運動会）				進路学習を通じ、互いを尊重する精神を養う。また、自己実現に向けて考える機会とする。		「子供」「高齢者」「外国人」⇔校外学習に伴い、鎌倉について調査し、人間の尊厳について考え、理解を深める	生徒会活動の一環として、ユニセフ・サハルの会参加を通じて、ボランティア精神と人権意識を培う。	「災害に伴う人権問題」⇔震災と人権
その他	感染症患者（通年）										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔=関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和8年度 江戸川区立小岩第一中学校 人権教育年間指導計画（第三学年）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育を含んだ学級目標の設定	互いを認め合う集団作り（運動会）			学級生活の向上を図るとともに、自己の良さを発揮し、個性を伸ばし、集団生活が送れるよう支援する				これまでの学校生活を振り返り、互いに感謝の気持ちを持たせる		
各教科・読書科	各教科において、人権問題を課題解決学習として取り入れ、実施する										
					感染症について正しい理解を深め、病気に対する偏見をなくす（保健体育） 「HIV感染者」						
特別の教科 道徳		「LGBTQ」 ⇔ 性の理解と尊重 ⇔ 運動会	集団生活の向上 集団との関りから「権利と義務」について考える	社会の秩序と規律 自他の権利を尊重し、義務を確実に果たす	「生命尊重」生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する				「高齢者」⇔ 「郷土愛」先人や高齢者に尊敬や感謝の念を持つ		社会の秩序と規律 自他の権利を尊重し、義務を確実に果たす
総合的な学習の時間			「子供」「高齢者」「外国人」⇔修学旅行に伴い、京都・奈良について調査し、人間の尊厳について考え、理解を深める				「子供」「高齢者」「障害者」⇔フィールドワークに取り組み、人間の尊厳についての理解を深める				
特別活動	「インターネットによる人権被害」スマートフォンやSNSを使用する際の注意事項	男女協力し、互いに尊重しあう集団作り（運動会）			宿泊行事をふまえ、男女協力し尊重しあう心を育てる		進路学習を通じ、互いを尊重する精神を養う。 また、自己実現に向けて考える機会とする。		生徒会活動の一環として、ユニセフ・サヘルの会参加を通じて、ボランティア精神と人権意識を培う。		「災害に伴う人権問題」 ⇔震災と人権
その他	感染症患者（通年）										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。